

新型コロナウイルスに関する農林水産省対策本部（第6回） 概要

日時 : 令和2年3月6日(金) 15時35分～16時15分

場所 : 農林水産省第1特別会議室

出席者 : 江藤大臣、伊東副大臣、加藤副大臣、河野政務官、藤木政務官、農林水産審議官、官房長、総括審議官（国際）、危機管理・政策立案総括審議官、統計部管理課長、報道官、消費・安全局長、生産局長、経営局長、農村振興局長、政策統括官、農林水産技術会議事務局長、林野庁長官、林野庁次長、水産庁長官、北海道農政事務所長、東北農政局長、北陸農政局長、関東農政局長、東海農政局長、近畿農政局長、中国四国農政局長、九州農政局長

内容 :

1 本部長御発言（大臣）

1月30日に省対策本部を立ち上げて今日までよくやっていると思うが、事態は刻々と変化しているのでしっかり頑張っていたきたい。朝の閣議後記者会見でも申し上げたが、問合せに対応する窓口を農政局に設置した。窓口だけではなく、現場にも出向き情報収集はしっかりと行っていただきたい。

そして、伊東農林水産副大臣に8日から専門家5名と北海道に行ってもらっていただく。北海道は日本にとって大切な食料生産基地であり、またクラスターも発生しているので、各業界向けの事業継続計画のガイドライン作りをよろしく願います。

昨日、総理から中国、韓国の入国に当たっての措置が新たに公表された。農政局は、生産現場、食品の製造現場など所管するところで、これから何が起こり、何が必要なのか、何をすべきなのか、それらの情報をリアルタイムで収集し、しっかり整理をしていただきたいと思っている。

私が就任以来、これまで生産基盤の強化に皆様方の協力をいただき、色々な政策を立てていただけてきた。もちろん、引き続き生産基盤の強化に取り組んでいくが、この局面に当たっては、生産基盤をいかに守り維持するかということに更に力点を置いてやっていく必要があると思っている。あらゆる意見、知恵は遠慮無くこの本部で出していただきたい。

2 新型コロナウイルス対策に関する農林水産省北海道現地対策本部設置等について 危機管理・政策立案総括審議官より説明

3 農林水産省における影響と対応について

食料産業局長、政策統括官、生産局長、林野庁長官、水産庁長官、経営局長、農政局から報告

<江藤大臣>

市場開場に関するガイドラインについて、速やかに発出したいというのは、どの程度の期間を考えているのか。

<食料産業局長>

昨日から厚生労働省と調整しており、来週早々にはと考えている。また、風評被害に関する広報についても引き続き取り組んでいく。

<江藤大臣>

農林水産省の玄関には、花は飾ってあるのか。

<園芸作物課長>

月曜日から、農林水産省の全ての入口に飾る予定。

<江藤大臣>

花いっぱいプロジェクトを打ち出すのだから、役所の玄関に花がないでは話にならないので、たくさん飾るように。

輸出に関わる部分のみ材価の下落が見られ、その他はないというのは本当なのか。

原木も含め木材の輸出がどの程度あるのか調べて報告すること。原木輸出量が多い宮崎県を代表的な例に、森林組合にも聞き取りをして何が起きているかよく調べること。

農林水産省から一旦通知を出すとなかったことにはできない。各局庁バラバラにやるのではなく、一体感を持ってやるように。

タイで発生している日本産水産物の風評払拭に関するお知らせを発出するということが、発出する関係各位とはどこのことを指しているのか。

<水産庁長官>

厚生労働省と相談して、タイの大使館、タイにある日本料理店に日本語、英語、タイ語で表記したものを出すことを予定している。

外交ルートを通じて、タイ国政府にも事実に基づかない風評被害が発生するようなことは言わないように呼び掛けている。

<江藤大臣>

特定活動の在留期間の延長はとりあえず 30 日だと思うが、本人の意思で延長は可能なのか。

<経営局長>

本人の意思ではなく、制度面での対応が必要なので、その都度制度官庁に要請しなければならない。

<江藤大臣>

先程、本省でも玄関に花を大々的に飾るように言ったが、国民の皆様方に花の販売促進をお願いするからには、我々が率先して花を買って飾る必要があるので、農政局でも玄関等に地元の花を飾るようにしていただきたい。

米菓の包材は中国産で中身を国産に切替えるということだが、これは食品表示法の関係があるのか。

<消費・安全局長>

米と加工品は米トレーサビリティ法と食品表示法の両方がかかっている。

<江藤大臣>

地方の首長さんや団体の長の皆さん方からは、農林水産省から一定の方向性を示してくれないとやれないという話が、極めて強く出ている。国民の生活に直結する食品の供給を考えると豊洲市場や太田市場、その他の小規模な市場も閉める訳にはいかないが、今までと同じやり方では問題があると思う。

競りを行うにしても今までは、近い距離でやっていたが、マイクを使用することや、少し離れてやってもらうことも考えられる。豊洲もあまり大きいスペースではないし、仲買人もたくさん来る。今は見学を止めているということだが、競り等を行うにあたり守っていただくべき注意点をそれぞれの市場や競り場でしっかり整理し、各局でバラバラにやらないように対応していただきたい。なかなか大変な局面になってきたが、頑張っ

<伊東副大臣>

今の段階では、農林水産物を介してコロナウイルスが伝染するということはない。これを最大の方針としていくということ。

<危機管理・政策立案審議官>

伊東副大臣に行っていただく北海道の現地対策本部は、北海道の酪農、水田、畑作及び卸売市場等の BCP を業界の方々とどういうふうな形で整理をしていくかという話をさせていただく。各局内でも色々検討され、北海道の現場でも、例えば業界と話し合っ

以上